

玉川大学

北海道弟子屈農場・演習林における 2025 年度のトピックについて

玉川大学 農学部農産研究センター北海道弟子屈演習林

【美留和地区】

釧路川沿いの河畔林において、植生保護などのため 2000 年代に設置した木道の経年劣化が著しくなり、業者委託により全面更新した（写真 1）。当地は釧路川源流部に位置し、貴重な草本植物が複数自生しているため、教育と研究面も含めて今後も管理を行う。

山間部の針広混交林では、林縁部に自生するイタヤカエデの樹液を 2～3 月にかけて回収と一時冷凍保存の上で解凍・加熱し、メープルシロップを試作した（写真 2）。円滑な回収と保存方法の検討と、回収時期による成分変化にも注目し、今後も研究を継続する。

【屈斜路地区】

美留和地区含め、周辺地域においてヒグマの目撃件数が増加傾向にある。演習林内での業務・実習中の発見や被害は現段階で発生していないが、これまで以上に人間の行動圏に進出していると考えられるため、防衛対策の強化を進めている。



写真 1. 河畔林内の木道



写真 2. メープルシロップ